

プラスチック問題に関する提言（たたき台）の構成等について

- 1 「はじめに」の部分は、冒頭部分として一ページで記述した。
- 2 沖縄県が持続可能な島しょ型プラスチック資源循環社会のフロントランナーとなり、島しょ国、島しょ地域の参考モデルとなることを目指すためのビジョンを「Ⅰ沖縄県が目指すべきプラスチック資源循環社会のビジョン」として記述した。
- 3 第1回及び第2回会議での各委員の意見や提言、議論などについて「Ⅱ新しいライフスタイルへの転換」と「Ⅲプラスチック資源循環社会に向けた取組」の大項目と8つの中項目「環境教育」「普及啓発」「プラスチック製品の使用削減」「リサイクルの推進」「ブランディング」「推進体制の構築」「制度の導入と活用」に分類分けして記述した。
中項目ごとに、（1）現状と課題、（2）提言、（3）モデル事例を記述する。
- 4 大項目ⅡとⅢに分けたことについては、去る11月29日に県四役（知事、副知事、政策調整監）にプラスチックに関する万国津梁会議の進捗状況を報告したところ、「県民等に対してプラスチック問題の意識を高揚又は転換するための教育、社会教育、普及啓発」と「県民・団体・企業・行政などが実際に実行する取組」に分けて議論し報告してもらいたいとのことであつたため。
- 5 各項目の（2）提言については、これまでの各委員からの意見、提言を項目分けしてまとめており、それらの内容確認及び、追加・修正・補足などして頂けたらと考えている。また、先進事例、参考事例についても引き続きご教示願いたい。
事務局としては、提言内容の追加・修正・補足、先進事例などを確認し、今後の調査事項の参考としていきたい。